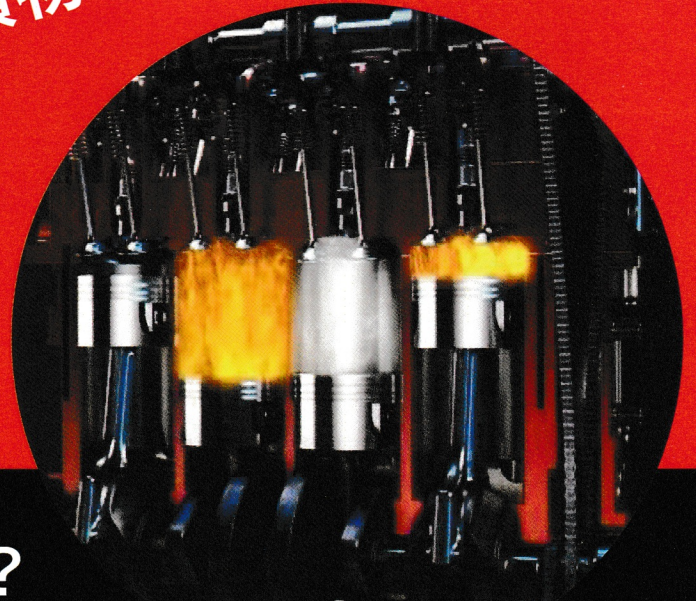


煤汚れ問題
洗浄で解決

今の省燃費エンジン LSPIが故障の原因です

放置すると煤汚れが堆積物となり損傷します

LSPI(低速早期着火)とはエンジンの事前点火による異常燃焼が発生する現象で、煤汚れやノッキングを誘発し損傷の恐れがある、直噴エンジン(今の省燃費エンジン)の弱点です。



こんなお困りありませんか？

- 燃費が著しく悪くなった。
- アクセルを踏んでもワントempo遅れる。
- エンジンチェックランプが点灯した。
- DPF再生の間隔が短くなった。

事例

- ・インジェクターノズルの噴射が不安定。
- ・吸気バルブが密着不良で正しく閉じない。
- ・EGRバルブの作動不良。
- ・圧縮不足によるエンジン損傷。

原因その **1**

燃料系統の汚染物質



噴射された燃料が空気と最適に混合できずに未燃焼ガスが汚染物質を生成し、燃焼残留物となって堆積し目詰まりして故障します。

原因その **2**

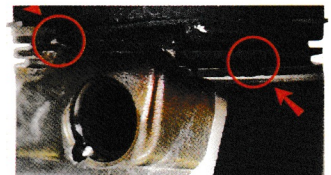
吸気系統の汚染物質



近年の直噴エンジンの問題は、吸気側の煤汚れの自浄作用が無く、未燃焼ガスの逆流と再循環で煤汚れが堆積物として蓄積されます。

原因その **3**

チョイ乗りでLSPI



街中など低回転域での走行と冷えたエンジンにより燃焼温度が上がりずLSPIが助長されます。オイル粘度も希釈し圧力低下します。

まずはお気軽にご相談ください！

リキモリで解決 ☎088-689-1270

ベネシクパーツ 🔍